平成23年3月10日
JR北海道釧路支社

「SL冬の湿原号」「流氷ノロッコ号」乗車実績について

JR北海道では、今年度の「SL冬の湿原号」「流氷ノロッコ号」の運行を3月6日で終えました。今年度は好天にも恵まれ、道内外から多くのお客様にご利用いただきました。又、今年度の運行で、おかげさまで両列車ともに『20万人』・『30万人』という累計乗車人員を達成することができました。
平成22年度の、冬の道東観光列車の乗車実績を下記の通りご報告いたします。

■乗車実績

1　SL冬の湿原号（釧路～標茶間）

22年度の乗車総人員は14,000人と前年よりも400人増加、乗車平均も(一日あたり)358名と前年を上回りました。厳しい経済情勢下ではありましたが、ＳＬを組み込んだ商品の発売実績が好調だったことや、各種編成での運転等による集客増加が起因していると考えられます。

（釧路～標茶間　１日１往復　上下計）

	乗車計(人)	乗車平均(人)(1日あたり)	計画運転日数(日)	運転日数(日)	運転日
本年	14,000	358	39	39	1/22,23,29-31,2/1-28,3/1-6
前年	13,600	348	39	39	1/23,24,30,31,2/1-28,3/1-7 ※2/28下りのみ運休
増減	400	10	±0	0	
対前年比(%)	102.9%	102.9%			

※川湯温泉延長運転：本年１／２２、２３（２日間）　前年１／２３、２４（２日間）
※重連運転：本年１／３１　前年２／６
※SL逆向き運転：本年２／２６、２７　前年２／７
※SL逆向き重連運転：本年２／２８　前年　未実施
※乗車平均は運休列車を除く（22年度）

2　流氷ノロッコ号（知床斜里～網走間）

22年度は天候にも恵まれ、乗車総人員は19,900人と前年よりも900名増加しました。乗車平均も(1日あたり)538名と前年を上回りました。運転初日から流氷が接岸し、例年に比べ流氷の接岸期間が長かったこともあり、多くのお客様にご利用いただきました。

（知床斜里～網走間　１日２往復　上下計）

	乗車計(人)	乗車平均(人)(1日あたり)	計画運転日数(日)	運転日数(日)	
本年	19,900	538	37	37	1/29-31,2/1-28,3/1-6
前年	19,000	527	37	36	1/30,31,2/1-28,3/1-7(2/7運休)
増減	900	11	±0	1	
対前年比(%)	104.7%	102.1%			

※乗車平均は運休列車を除く

網走では平成２３年１月１９日に流氷初日、１月２９日に接岸初日となりました。平年より２日早く、昨年よりは１０日早い流氷接岸初日です。（平成23年3月10日現在、海明けはまだ発表されていません。）
※流氷初日とは、流氷が視界に入った日。
※接岸初日とは、流氷が接岸、または定着氷と接着して船舶が航行出来なくなった最初の日。
※海明けとは、全氷量が５割以下になり、かつ沿岸水路が出来て航行が可能となった最初の日。

【お問い合わせ：釧路支社販売グループ　白木　0154-25-1683（土・日・祝日除く）】